

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和4（2022）年度

施設名	とちぎ男女共同参画センター南館
施設所管課	生活文化スポーツ部人権男女共同参画課
指定管理者	公益財団法人とちぎ男女共同参画財団（法人番号 5060005007625）
指定期間	平成31（2019）年4月1日～令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市野沢町4-1
施設の概要	① 敷地面積：30,232㎡ 建物面積：6,800㎡ ② 構造：鉄筋コンクリート3階建（一部地下1階） ③ 研修室等：ホール、研修室8室、会議室、OA研修室、和室、ライフアトリエ、パフォーマンススタジオ、調理実習室、テニスコート ④ 駐車場：収容台数230台（第1～3駐車場）
業務内容	① とちぎ男女共同参画センター南館の施設の維持管理に関する業務 ② とちぎ男女共同参画センター南館の利用に係る事務（有料施設等の利用の許可に関するものを含む。）に関する業務 ③ とちぎ男女共同参画センター南館の運営に関する業務

2 収支の状況

令和4（2022）年度

（千円）

収入		支出		
指定管理 ※2	指定管理料	126,559	事業費	0
	利用料金収入	18,259	管理運営費	100,776
	その他収入※1	989	人件費	39,183
			その他支出※1	6,178
	合計	145,807	合計	146,137
指定管理業務収支差額①		▲330		
自主事業		124		
自主事業収支差額②		▲1,655		
収支差額（①+②）		▲1,985		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）		備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
コピー機利用料金等 38		退職給与引当金支出 1,334		
受取利息 0		租税公課費 4,844		
自販機設置委託料収入 951				

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和3（2021）年度（前年度）

（千円）

収入		支出		
指定管理 ※2	指定管理料	127,342	事業費	0
	利用料金収入	15,562	管理運営費	92,781
	その他収入※1	1,017	人件費	37,859
			その他支出※1	7,802
	合計	143,921	合計	138,442
指定管理業務収支差額①		5,479		
自主事業		68		
自主事業収支差額②		▲1,857		
収支差額（①+②）		3,622		

備考（※1 その他収入の主なものを記載）	備考（※1 その他支出の主なものを記載）
コピー機利用料金等 6 6	退職給与引当金支出 2, 1 8 3
受取利息 0	租税公課費 5, 6 1 9
自販機設置委託料収入 9 5 1	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和3（2021）年度 （前年度）	令和4（2022）年度
ホール	利用日数	109日	144日
	利用率	36.8%	48.8%
	利用者数	8,838人	14,036人
研修室 101	利用日数	112日	107日
	利用率	37.8%	36.3%
	利用者数	758人	510人
研修室 201	利用日数	3日	0日
	利用率	1.0%	0.0%
	利用者数	6人	0人
研修室 202	利用日数	148日	130日
	利用率	50.0%	44.1%
	利用者数	1,100人	1,104人
研修室 203	利用日数	126日	113日
	利用率	42.6%	38.3%
	利用者数	941人	1,113人
研修室 301	利用日数	193日	229日
	利用率	65.2%	77.6%
	利用者数	7,125人	9,791人
研修室 302	利用日数	175日	185日
	利用率	59.1%	62.7%
	利用者数	5,077人	5,785人
研修室 303	利用日数	67日	83日
	利用率	22.6%	28.1%
	利用者数	482人	734人
研修室 304	利用日数	114日	128日
	利用率	38.5%	43.4%
	利用者数	1,916人	1,866人
会議室	利用日数	33日	44日
	利用率	11.1%	14.9%
	利用者数	414人	553人
OA 研修室	利用日数	30日	16日
	利用率	10.1%	5.4%
	利用者数	127人	185人
和室	利用日数	74日	57日
	利用率	25.0%	19.3%
	利用者数	605人	304人
ライフアトリエ	利用日数	7日	16日
	利用率	2.4%	5.4%
	利用者数	28人	65人

パフォーマンススタジオ	利用日数	213 日	248 日
	利用率	72.0%	84.1%
	利用者数	2,406 人	2,654 人
調理実習室	利用日数	12 日	19 日
	利用率	4.1%	6.4%
	利用者数	150 人	251 人
テニスコート	利用日数	129 日	121 日
	利用率	43.6%	41.0%
	利用者数	590 人	447 人

4 サービス向上に向けた取組

- ・ 開館日の増設（月曜日が祝日の場合でも、翌日振替休日による休館とせず開館している。）
- ・ ホームページに利用施設の最新予約状況やタイムリーな情報を随時掲示している。
- ・ パルティ交流サロン利用団体との情報交換会や年間を通じて利用者アンケートを実施することにより、ニーズを把握しながら利用者の満足度の向上に努めている。
- ・ 情報ライブラリーでは毎月新刊案内を掲示している。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者意見箱の設置 ・ パルティ交流サロン利用団体との情報交換会を年1回行い、意見を傾聴している。 ・ 利用者アンケートの実施 〔調査期間：年間を通じて実施〕 〔調査方法：貸館利用の際に協力を依頼〕 〔調査対象数：1,118 枚配布、828 枚回答あり（回答率74.1%）〕 					
[アンケート内容]					
Q1 当センターを利用したことがあるか。（計828件）					
① 初めて 81件 ②ある 747件					
Q2 初めての方へ。当センターを何で知ったか。（複数回答あり）（計81件）					
① HP 36件 ②リーフレット 0件 ③区市町等の紹介 7件 ④新聞 0件 ⑤知人・友人 20件 ⑥その他 14件 ⑦無記入 4件					
Q3 再利用の方へ。どの程度利用するか。（計747件）					
① 週1回 59件 ②月2回 120件 ③月1回 199件 ④年2回 166件 ⑤年1回 95件 ⑥その他 99件 ⑦無記入 9件					
Q4 申し込みから利用当日までの手続きの対応について。					
	事務手続きの対応等	館内の照明等の環境	施設設備	館内外の清掃	満足度
5（良い）	675件	674件	678件	711件	671件
4	96件	98件	103件	86件	115件
3	38件	45件	35件	22件	30件
2	1件	2件	1件	0件	0件
1（改善を求む）	0件	0件	2件	0件	0件
無記入	18件	9件	9件	9件	12件
計	828件	828件	828件	828件	828件

主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
① 納付書が届かず、少し困った。	① 4月から郵便局の配送パターンが変更されたことが原因である。利用日の近い変更や申請は、書類の当日渡し・清算、もしくは書類を取りに来館してもらうよう利用者をお願いする。
② 下見の時のプロジェクターと当日の機種が違ったため、接続に手間どった。	② 研修室 302 のプロジェクターは故障中のため、研修室 302 のプロジェクター貸出は「会議室用プロジェクター」とし、利用者に周知する。また、他備品の対応時は申し送りする。
③ ゴムベラが劣化していたので、交換してほしい。ゴムベラのかげらがケーキの中に入ってしまった。	③ 即日ゴムベラの交換を行った。
④ 申込後の連絡がほしい。	④ 申請書をメール、FAX で受信したら、必要に応じてその旨を連絡することにした。
⑤ 刺繍をするので、部屋が少々暗い。	⑤ 利用者の目的に応じた研修室を案内する。
主な利用者意見（積極的評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の貸出物品にも対応してもらい、感謝している。 ・ 快適に利用させてもらえた。 ・ いい研修ができた。 ・ いつも対応をよくしてもらっている。 ・ ライティングがすごくよかった。ピアノもよくてまた利用したい。 	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持管理や使用料金の徴収等の事務を適切に行った。 ・ 男女共同参画の推進団体やグループ等の利用促進を図った。 ・ センター事業（講座等）とのバランスある利用に努め、公平公正な利用を図った。 ・ 情報ライブラリーの貸出用の資料や閲覧DVDを充実させるとともに、ホームページや情報誌パーティを活用した積極的な情報提供を行った。 ・ ゴーヤによるグリーンカーテンを実施するなど、省エネや利用者の健康面に配慮した維持管理に心掛けるとともに、倒壊の恐れのある枯損木を伐採するなど、日常の安全確保に努めた。
安全で快適な施設利用に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備の老朽化が進行し、修繕箇所が増加しているが、空調、トイレや照明等各種設備の故障に対して迅速に修繕を実施し、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう取り組んでいる。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者からの苦情・意見や設備の修繕に対して、今後とも、施設内に常駐する設備管理委託業者との情報交換や連携を密にし、迅速で適切な対応に努めるなど、施設管理の円滑な運営を推進する。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	施設の予約について月1回抽選会を開くなど、利用者に対し公平な方法をとっている。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	条例、規則に基づき、適正に審査し、許可事務を行っている。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	身障者用駐車場や視覚障害者用チャイムを有し、館内には車椅子や点字ブロック、多目的トイレ、オストメイト等を備えている。	A
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	設置目的に沿った利用の場合には、優先的に予約を受け付けている。利用者アンケートの結果によると、約9割がリピーターであり、かつ7割以上の者が年2回以上利用するなど、男女共同参画推進をはじめとする県民活動の支援に成果を発揮している。	A
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	ホームページや情報誌等による情報提供を積極的に行うとともに、利用者からの要望等への適切な対応に努めた。また、託児室の開設をとおして、子育て中の女性の研修会等への参加促進を支援した。	A
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者アンケートを実施し、利用者の意見等を踏まえ、施設運営や業務改善に反映するよう努めた。	A
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	施設的环境や設備の老朽化に関する苦情があるが、細やかな清掃の実施や器具の交換等を迅速に行い、適切に対応した。	A
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	設備等の修繕箇所に対して、迅速で適切な対応に努めた。	A
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	新規以外の利用者との打合せは、来館を求めず電話で行うなど簡略化に努めた。	A
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員は、様々な職種（県派遣・県OB、プロパー、嘱託員）から構成されており、勤務形態等が異なる中で、事務の効率化やサービスの向上に努めるなど、適切な管理運営を行っている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	収支は概ね適正でバランスがとれている。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	不要な照明の消灯や冷暖房の適切な温度管理に加えて、グリーンカーテンを取り入れるなど光熱水費の縮減に取り組んでいる。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	男女共同参画に関する研修に随時職員を参加させるとともに、貸館マニ	B

		マニュアルや情報ライブラリー運営マニュアル等に基づき、職員間の情報共有を強化している。	
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	危機管理マニュアルを作成し、事故や緊急時に対応できるようにしている。また、避難訓練を年2回実施している。	B
	⑤県や関係機関との連携体制は確保されているか。	人権男女共同参画課やとちぎ男女共同参画センター等と連携を密にして施設運営を行っている。	A
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報保護対策指針や事務処理要領により、適正に取り扱っている。	B
	②情報公開は適切になされているか	定款や事業計画書等開示対象書類を事務室内に備え置いているが、情報公開請求事例はなかった。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	利用者アンケートの結果を毎月集計し、利用者ニーズを把握するとともに、利用状況を分析・評価している。	A
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	計画どおりに実施されている。	B
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	地域自治会へ参加を呼びかけるとともに、近隣の大学や県総合教育センター等で催しが開催される場合には協力・交流を図っている。	A
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	ごみの持ち帰りを表示で呼びかけるとともに、出されたごみの分別処理を徹底している。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項	特になし。	B
総合的な評価			
<p>平成8(1996)年の開館以来、バルティという愛称で県民に広く親しまれ、利用される施設になっている。開館30周年に向けて、男女共同参画の拠点施設として、適切な施設管理及び効果的な事業の展開を進めてもらいたい。</p> <p>さらに、施設の経年劣化に伴い、今後各種設備の計画的な改修工事を行っていく必要があるため、保守点検業者との連携と適切な情報収集に努めてもらいたい。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。